



生活環境

久津那 町の指定ごみ袋の値段が高い気がします。

町長 ごみの焼却は、伊予市と松前町で一緒に行っているのですが、ごみ袋も伊予市と同じものを使っています。他市町も同じくらいの値段なので、松前町だけが特別高いということはないですよ。指定ごみ袋にお金を払う一番の目的は、ごみを処理するのにお金がかかることを実感してもらうためです。ごみを出すときに自分が買ってきたごみ袋に入れるとなると、使えるものはできるだけ使おう、生ごみは乾燥させてから出そうとか、皆さん色々な工夫をします。実際、指定ごみ袋になったことで、松前町のごみは20パーセント以上減っています。『ごみ袋を使わないためにはごみを出さない』ことが意識でき始めたら、ごみ袋の値段を下げることも考えられるけれど、導入当初よりごみが増えつつあるので、今の段階では下げられません。なぜごみ袋が有料なのかを理解してください。ごみの問題は、松前町だけでなく全国の問題で、環境を守るためにも大切なことです。

防災

町長 北黒田海岸の話はしましたが、松前町は山がないので大雨や台風による崖崩れは発生しません。ただ、地震や津波はいつ起こるか分からない。ですから、松前町にとっても防災は重要な政策のひとつです。今、皆さんが住んでいる地域でも自主防災組織を作ってもらっています。これは学生であるうと関心をもってもらって、しっかり認識しておいてほしい。いざという時は、若い人たちに高齢者を助けてもらわないといけないからです。

櫻木 災害のとき、役場はどう活動するんですか？

町長 災害対策本部を立ち上げます。立ち上げたらそこに被害の情報が入ってきて、対策をとっていきます。だけどその前に地域で行動しないといけない。これが自主防災組織です。例えば学校や公民館に逃げるとかね。その前に倒れない建物におかなければいけないね。町として、防災についてこれまで以上に力を入れていくのが、公共施設の耐震強化です。学校、体育館や公民館などを補強して、一時的に皆さんが避難できる場所を確保します。もう1つが大規模

災害に備えての基金の積立てです。毎年3千万ずつ積立てていて、3年を過ぎましたから、もう1億円近くになります。

村上 松前町には避難経路のマップはありますか？

町長 防災マップを配っています。けれど、家のどこかにはあっても、いつも見るわけではないでしょうから、少なくとも3年に1回はマップを配って、病院、避難場所がわかるようにしたいと思います。今後も防災に力を入れ、災害に強い町をめざします。



避難訓練など熱心な活動を行う町内の自主防災組織



むらかみ ゆうか 村上 侑加さん (南黒田)



やまさき みどり 山崎 碧さん (恵久美)



たかた hitomi 高田 瞳さん (西古泉)



さくらぎ まなみさん (神崎)